



NHKテレビ人形劇

「プリンプリン物語」

人形特別展

—メモリアル・ガイドブック出版記念—

会期

2013年12月7日(土)~2014年2月9日(日)

会場

横浜人形の家 3階 企画展示室

入場料200円

(別途入館料が必要になります。)
大人300円 こども150円

プリンプリン物語の全キャラクターが登場!!

プリンプリン物語で使用した人形

250体、原画、衣装等

約50点を展示

★金のプリンセスも登場!!★

Princess Prinprin

主催：横浜人形の家

後援：NHK横浜放送局 横浜市文化観光局 毎日新聞横浜支局
神奈川新聞社 tvk(テレビ神奈川) FMヨコハマ
J:COM横浜 プリンセスガーデン・ヨコハマ

協賛：(株)ありあけ

協力：(株)河出書房新社 榎辺 勤 伊藤 公一 横浜信用金庫
秋山庄太郎写真芸術館 伊東万里子(劇団貝の火)
(有)美術梱包ヒグチ (株)ヨシクラデザイン
(有)月世 高島屋横浜店 そごう横浜店

監修：友永詔三

撮影：秋山庄太郎

写真提供：秋山庄太郎写真芸術館

<特別展について>

造形作家として活躍中の友永詔三氏がデザイン・制作を手掛け、1979年から82年(再放送:平成15年)にNHKテレビで放送された連続人形劇「プリンプリン物語」(原作:石山 透)の人形や原画約300点の他、衣装や装飾品などを併せて展示します。

「プリンプリン物語」の人形は、人形の肌に木の素材を直接に活かし、同氏の発案で関節に球体を使用する“球体関節人形”の製作手法がとられました。NHKの人形劇シリーズでは初のことでその特徴によるキャラクターたちの自由に活き活きとした動きは多くのファンを魅了しました。

今回の展示は、友永詔三氏の監修をいただき、開催いたします。

<展示・開催内容>

- 主要キャラクター人形(人物及び動物)約250体
- プリンセス・プリンプリンや登場人形のかつら・衣装・装飾品など
- 友永氏直筆登場キャラクターの原画 約50点
- その他の関連イベント

★友永詔三氏 サイン会 12月7日(土)・8日(日)・22日(日)・1月12日(日) ※1日数回予定

◎『メモリアル・ガイドブック』購入者を対象に友永氏本人によるサイン会を開催します。

◎12月8日(日)の購入者には、友永氏のバースデー記念としてオリジナルポストカードプレゼント

★スペシャル作品特別展示

◎「金のプリンセス」(高さ35cm)

◎近年、友永氏が取り組んでいる少女像のブロンズ原型「森の調べ」展示(高さ3,5m)

★毎週土・日・祝スペシャルプレゼント!!

◎横浜銘菓「ありあけのハーバー」(先着30名様)

◎NHK特製「プリンプリン物語・ペーパークラフトプレゼント」(小中学生対象、数量限定)



©宇井真紀子



©清 夏美



©宇井真紀子

ともながあきみつ
造形作家 友永詔三
(1944年12月8日～)

<プロフィール>

- ◆高知県高岡郡窪川町(現 四万十町)に生まれる。
- ◆高知県立須崎工業高等学校から東京デザイナー学院インテリアデザイン科を経て1967年に東宝舞台美術部に入社。
- ◆同年、オーストラリアの人形劇団「Peter Scriven's Tintookies」のオーディションに合格。
翌1968年にはオーストラリアでピーター・スクリベン、イゴール・ヒチカ(ロシアのマリオネット美術家)に師事する。
- ◆帰国後、東京デザイナー学院講師となり、芸術マリオネット劇の上演、美術、演出、人形制作に携わる。
- ◆1979年にNHK人形劇、「プリンプリン物語」で採用された人形には、関節部分が球体となった構造を取り入れ操演の難度は高いものの動作の自由度が高く、幅広い表現を可能にした。
番組終了までに500体以上の人形をデザイン、製作した。
- ◆近年は、関節に球体の形をとらない少女の木彫像を多く製作している。装飾を最小限にとどめたシンプルなフォルムの少女たちは、頭の先から指の先、そしてつま先まで繊細に彫刻された友永氏の心のこもった芸術作品である。



(会場・お問い合わせ) 横浜人形の家 <http://www.yokohama-doll-museum.com/>

横浜市中区山下町18番地 TEL:045-671-9361

(アクセス) みなとみらい線 元町・中華街駅4番出口より徒歩3分/JR根岸線 石川町駅 元町口より徒歩13分